



ビキニ健康相談会・シンポ 船員置き去りに行くな

太平洋核被災支援センター 健康対策部長に要請

●本年度内に
県が実施する
としていたビ
キニ被災船員
の健康相談会

と、シンポジウムの実施、そして救済への法的方向性が、いまだに県民に明らかになっていません。

1月23日、「太平洋核被災支援センター」のメンバーは、ビキニ被災船員や遺族の救済に役立つ取り組みにするよう、県に要請を行い、私、吉良も同席しました。

●3年前の相談会に参加した船員や遺族にすら声掛けをしておらず、現時点で2名しか申請者がいない事を認めた県の鎌倉健康対



策部長に、早急な取組改善を求めました。

また、シンポジウムも、ビキニ被災の研究・専門家、当該支援センター関係者が位置付けられていない事や、開催日が年度末の3月中旬の平日を想定など、船員や遺族の思いを組むものとわ言えず問題です。

また、救済への法的検討も昨秋から一向に前進していませんでした。

知事の議会答弁から後退していると思わざるを得ないと私も指摘し、船員・遺族に寄り添い、救済を図るものにするよう部長に求めました。



●先週の土曜日からなんとなく腹痛がし始め吐き気とひどい下痢にも襲われ、しかも7度8分の高温！翌、日曜日は、恒例の北中ブロックの「お餅つき大会」と、2008年のリーマンショックによる派遣労働者の解雇撤回の戦いを描いた映画「時の行路」もあり楽しみにしていたのですが、あえなくベッドの中で過ごさすことに(涙)。病名は感染性胃腸炎、つまり、嘔吐下痢症。健康が一番だよなあとしみじみ思った睦月の末でした。

●十年間、愛宕商店街の皆さんにお世話になってまいりました吉良事務所ですが、この度、駐車場がある場所への移転等々などを考え、2月いっぱい、閉めることに致します。

愛宕商店街代表の小野会長(カフェレストランイランド)はじめ、商店街の皆さんには本当にお世話になりました。この紙面をおかりしまして心から感謝と御礼申し上げます。事務所がなくなりましても、愛宕が故郷ですのでどうか、今後ともよろしくお願い致します。